

2011年度(平成23年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年)5月27日
-------	-------------------

校番 37	福山市立曙小学校
-------	----------

1 学校教育目標

しなやかな心で、学ぶ意欲のあふれる曙っ子

2 経営理念

すべては未来の子どものために



(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

- ◎「教師力」を高める ～伸びる曙っ子～
- ☆主体的に生きる子どもを育成する。(知・徳・体の育成)
- ☆地域を愛し、地域のよさがわかる子どもを育成する。
- ☆地域に関かれ、信頼される学校づくりをする。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

☆ 授業で子どもを伸ばす学校	めざす子ども像
☆ あいさつ、掃除、時間等を徹底する学校	・互いに認め合う子
☆ 地域とともに歩む学校	・ねばり強くやりぬく子
☆ 情報を発信する学校	・自ら考え実行する子

3 自校の現状分析

児童は素直で明るいが、自分の考えを言語で表現することを苦手とする傾向にある。また、自己肯定感が弱く、将来に対する夢や希望を持ちにくい児童が多い。

基礎学力をつけるために、社会科・生活科・自立活動を中心に年間一人3回の授業研究を実施したり、放課後の個別指導に取り組んだ。「基礎基本定着状況調査」では、国語科(県+0.3)算数科(県-2.6)であった。特に算数科の計算力を身につける取組みが重要である。また、既習事項を適切に活用させることで学習意欲を高めることが課題である。(思考力・探究力の育成)

生活指導の充実においては、規律三要素については成果が見られたが、掃除(80%)家庭学習(88%)については課題が残った。教師がやってみせ、指導し評価する教師力が問われている。

特色ある教育活動では、昨年度より「合唱」を位置づけ、低・高別合唱、合唱サークルに力を入れてきた。取組みを継続し、公開研究会・学習発表会、ふくやまジュニアミュージックフェスティバル、コンクールを通して、トップレベルを目指す。

信頼される学校では、情報発信に重点を置き取り組んだ。特に、ホームページの充実を目指した。(平成23年2月末、県内14/587となった。)しかし、保護者アンケートでの満足度は75%(一昨年度73%)であった。ホームページの充実はもちろんのこと、学年・学級だよりの充実を図り満足度を高める。保護者・地域との連携を深める。

4 研究主題

(1) 研究主題

社会科における思考力・判断力・表現力の育成

～地域の「人・もの・こと」から、自らの課題を追究し続ける「曙学びのサイクル」～

(2) 研究指定

指定	事業名等	期間
市	・教育研究支援事業(社会科・生活科) ・ライフスキル教育	・2011年度(平成23年度)～2014年度(平成25年度) ・2011年度(平成23年度)
県	・不登校対策実践指定校 ・心の元気を育てる地域支援事業	・2011年度(平成23年度) ・2011年度(平成23年度)

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
☆基礎学力の定着 ○社会科・生活科・自立活動の授業研究 ・思考力を高める授業改善(習得・探究・活用) ○音楽教育の推進 ・全校合唱、合唱サークル ○キャリア教育(ライフスキル教育)の推進 ・キャリアノート(伸びる曙っ子)の活用 ○基礎学力の定着 ・計算力の向上 ・家庭学習の定着 ☆生徒指導の充実 ○基本的な生活習慣、生活リズムの定着	●昨年度、思考力・表現力を育む「曙学びのサイクル」を授業に取り入れ実践を行った。更なる充実・発展を目指す。 ●合唱を通して歌う喜び、表現力を高める。合唱サークルは、三年後にはトップレベルを目標とする。 ●キャリアノートを活用し、問題解決力、コミュニケーション能力、自己肯定感を高める。 ●「家庭学習の手引き」の徹底を図り、基礎学力を身につけさせる。「基礎基本状況調査」「全国テスト」で県・市平均を上回る結果を残す。 ●保護者と連携し、基本的な生活習慣、生活リズムの定着を図る。

6 評価基準

評価・指標評価	基準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	(最終) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ◎ 改善方策	○ 短期(中期) 経営目標の達成状況
確 か な 学 力	1	「基礎・基本」定着状況調査を市内トップ10にする。	★	継続	社会科・生活科・自立活動の授業力を高める。		◇年間一人3回の授業研究を実施し、他者評価3以上の割合を75%にする。			
			★	新規	「基礎基本」定着状況調査通過率を市・県を上回る。観点別学力診断検査で全国平均を上回る。		△算数科において、少人数指導・習熟度別学習を進めたり、ステップアッププリントを活用したりし、学期末テストの平均を80%以上にする。			
			★	新規	家庭学習の習慣を身につける。		△低学年30分、中学年45分、高学年60分以上の家庭学習ができる児童を100%にする。			
豊 か な 心	1	自己肯定感を高め、「学校が楽しい。」と答える児童を100%にする。	★	継続	音楽(合唱)を楽しむ習慣を身に付ける。		◇児童アンケートを学期末に行い、通過率を90%にする。			
			★	見直し	学習規律を徹底する。(あいさつ、「はい」という返事、聞く態度)		◇学習規律に関するチェックカードを毎学期2回行い、通過率を90%以上にする。			
			★	見直し	生活リズムの確立を図る。(朝食、起床時間、ノーテレビデー、掃除)		◇生活リズムアンケートを学期に1回行い、通過率を90%以上にする。			

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(最終) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取り組み ◇成果と取り組み に着目)	(最終) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
健 や か な 体	1	進んで体力つくりができる児童を育成する。		見直し	新体力テストの県平均以上の種目を60%以上にする。		▽体育委員会を中心に業間外遊び等を計画実施する。		
力 量 あ る 教 職 員	1	授業力を高めるため、研修意欲の向上を図る。	★	新規	研究会・研修会へ年間2回以上参加する。		▽A4一枚の報告書を作成し、還元研修をする。		
				新規	キャリアノートの充実を図る。		◇学期末にキャリアノートを実施し、児童の満足度を80%以上にする。		
市 民 か ら 信 頼 さ れ る 学 校	1	保護者・地域の肯定的評価を80%以上にする。		見直し	学校の情報を積極的に公開する。(HP、各種たより)		◇ホームページや学校だより、学年・学級だより、学年掲示板で学校の様子を発信し満足度を90%にする。		
				見直し	民生児童委員・地域ボランティアによる授業参観を実施する。		◇学期に1回の授業参観を実施し、評価「落着いて学習している。」を90%以上にする。		